南アメリカ・オセアニア
州

名前

問1　ニュージーランドの産業構造と輸出の特色について、その背景や現状を説明したものとして正しいものを選びなさい。（2024年 兵庫県公立入試 類似）

1. 広大な土地と気候を活かした牧畜を基盤としており、現在も乳製品や肉類といった農業生産品が輸出の過半数を占めている
2. 人口増加に伴う国内消費の拡大に対応するため、輸出中心の牧畜を廃止し、自給用の穀物生産に特化している
3. 近隣諸国との貿易摩擦を避けるため、牧畜から自動車や電子機器を中心とした工業へと完全に移行した
4. 内陸部の乾燥した気候を利用して大規模な灌漑農業を行い、綿花や羊毛のみを輸出するモノカルチャー経済となっている

問2　「日本ブラジル交流年」および「日本人ブラジル移住100周年」を記念して発行された貨幣の裏面には、ある農産物の枝と実がデザインされています。この農産物はブラジルが世界最大の生産量を誇り、かつて多くの日本人移住者がその栽培に従事したことで知られていますが、その農産物として正しいものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. 綿花
2. さとうきび
3. 茶
4. コーヒー豆

問3　ボリビアのサンタクルス付近などの熱帯地域で見られる、森林を焼き払って農地を確保する「焼畑農業」の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 焼いた灰を肥料にして作物を栽培するが、数年で土地がやせるため移動が必要になる。
2. 家畜を連れて水や草を求めながら広い範囲を移動し、乳や肉を得る生活を行う。
3. 先進国の資本と技術を取り入れ、広大な農地でコーヒーやカカオを単一栽培する。
4. 河川から水を引くための灌漑施設を整え、砂漠地帯で小麦や綿花を栽培する。

問4　南アメリカ大陸に位置するブラジルの農業において、広大な土地を利用した「大規模な機械化」が進んだ結果、近年輸出額が急増し、世界的な産地となっている農産物はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 茶
2. 大豆
3. 天然ゴム
4. カカオ

問5　南アメリカのエクアドル領であるガラパゴス諸島は、独自の生態系を維持するための科学的研究が続けられています。この諸島がダーウィンの研究の舞台となり、生物学的に重要な場所とされる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. アンデス山脈のふもとに位置し、標高差に応じた垂直的な土地利用が行われていたから
2. 大陸から離れた環境で、その島だけにしか存在しない固有種が独自に進化していたから
3. 赤道直下の肥沃な土地を利用して、ヨーロッパ向けの輸出用作物の栽培が盛んだったから
4. 古くから多くの民族が移り住み、多様な文化や言語が混ざり合って発展したから

問6　オセアニアに位置し、北島と南島の二つの主要な島からなるニュージーランドにおいて、古くからこの地に居住し、近年その独自の言語や文化が社会的に尊重されている先住民族の名称として正しいものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. アイヌ
2. イヌイット
3. マオリ
4. アボリジニ

問7　1960年代のオーストラリアにおける移民の出身地域は、イギリスを中心とするヨーロッパ州が約9割を占めていました。しかし、2023年の統計ではある特定の地域からの移民が約51パーセントと半数を超え、最大となっています。現在、オーストラリアの移民の出身地域として最も大きな割合を占めている地域はどこですか。（2026年 青森県公立入試 類似）

1. 北アメリカ州
2. アジア州
3. アフリカ州
4. 南アメリカ州

問8　南アメリカ大陸に位置するブラジルなどの国々において、街の中で最も一般的に見られる宗教的な景観や特徴について述べたものとして、適切なものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

1. 古くから伝わる仏教の寺院が、アンデス山脈の各地に建立されている。
2. ドーム型の屋根とミナレット（塔）を持つイスラム教のモスクが、各地に点在している。
3. 色鮮やかな彫刻が施されたヒンドゥー教の寺院が、農業地帯のシンボルとなっている。
4. 十字架が掲げられたカトリックの教会が、歴史的な街並みの中心に多く見られる。

問9　ブラジル内陸部の広大な草原地帯である「セラード」で行われた開発の背景と、その後の状況について述べた文として適切なものはどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）

1. 海底油田から得られる豊富な資金を投入し、コーヒーのモノカルチャー経済を維持するための灌漑施設が整備された。
2. 日本との協力によって酸性の不毛な土地を改良する開発が進められ、現在では世界有数の大豆の産地となっている。
3. 熱帯雨林を保護するために一切の農地転用を禁止した結果、牧草地としての利用が中心となっている。
4. 関税の撤廃協定を結んだ周辺諸国から安価な肥料を輸入し、サトウキビの生産に特化した大規模農園を建設した。

問10　南アメリカに位置するブラジルでは、再生可能エネルギーの活用が積極的に行われています。同国の発電量などの内訳を示した統計において、水力発電を除いた場合に、風力や太陽光と並んで高い割合を占めるエネルギーの原料となっている農作物はどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. コーヒー
2. とうもろこし
3. サトウキビ
4. ボーキサイト

問11　世界の食料生産に関する統計において、牛肉の生産量ではアメリカやブラジル、中国が上位を占め、輸出量ではブラジルやオーストラリアが上位となっています。このような国際的な競争の中で、アルゼンチンが行っている牛肉生産の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものを一つ選びなさい。（2026年 滋賀県公立入試 類似）

1. 熱帯雨林であるセルバを切り拓き、焼畑農業の跡地を利用して伝統的な遊牧を続けている。
2. パンパと呼ばれる広大な草原を基盤に、大規模な放牧や肥育場での効率的な飼育を行っている。
3. 地中海性気候を活かして、オリーブなどの果樹栽培の裏作として肉牛を飼育している。
4. アンデス山脈の傾斜地を利用し、リャマやアルパカと組み合わせた小規模な家畜飼育に特化している。

問12　南米のアンデス地方では、寒冷な気候に適応した生活文化が発達しています。この地域の伝統的な食文化と、民族衣装である「ポンチョ」の形状について説明したものの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 佐賀県公立入試 類似）

1. 米を主食とし、絹の布を複雑に裁断して縫製した形状
2. とうもろこしを主食とし、動物の毛皮を縫い合わせたコートのような形状
3. 小麦を主食とし、長い布を体に幾重にも巻きつける形状
4. じゃがいもを主食とし、一枚の布の中央に穴をあけて頭を通す形状

答え合わせ・解説

問1	答え 1 広大な土地と気候を活かした牧畜を基盤としており、現在も乳製品や肉類といった農業生産品が輸出の過半数を占めている	ニュージーランドは、地形や気候などの自然条件を巧みに利用し、羊や牛などの大規模な牧畜を展開しています。他の先進工業国とは異なり、製造業への完全な移行ではなく、付加価値の高い乳製品や食肉などの農業生産品を輸出の柱とする道を選んでいます。統計においても、農業関連の輸出額が全体の5割を超える高い水準を保っている点が、この国の大きな経済的特徴です。穀物生産が中心であるという説明や、工業へ完全に移行したという説明は誤りです。
問2	答え 4 コーヒー豆	ブラジルは広大な国土と気候条件を活かし、世界最大のコーヒー豆生産国としての地位を築いています。明治時代以降、日本（特に沖縄県など）から多くの人々がブラジルへ移住しましたが、その多くがサンパウロ州などのコーヒー農園で「コロノ」と呼ばれる契約労働者として働きました。この歴史的なつながりを象徴するため、移住100周年記念貨幣の意匠にもコーヒーが採用されています。
問3	答え 1 焼いた灰を肥料にして作物を栽培するが、数年で土地がやせるため移動が必要になる。	焼畑農業の最大の特徴は、人為的な化学肥料に頼らず、自然の樹木を燃やした灰のみを肥料とすることにあります。この方法は地力の消耗が激しく、短期間で耕作ができなくなるため、常に新しい土地を求めて移動し続けなければなりません。これに対し、特定の作物を大規模に育てるのはプランテーション、乾燥地での農業はオアシス農業、家畜とともに移動するのは遊牧であり、それぞれ異なる環境適応の形態です。
問4	答え 2 大豆	ブラジルでは、かつてのコーヒーモノカルチャー経済からの脱却を図るため、内陸部の未開発地域であったセラード（草原地帯）などの開発を進めました。そこで導入されたのが大規模な機械化農業であり、現在ではアメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆生産・輸出拠点となっています。天然ゴムはアマゾン川流域で過去に栄えた産業、カカオは西アフリカなどで盛んな作物です。
問5	答え 2 大陸から離れた環境で、その島だけにしか存在しない固有種が独自に進化していたから	ガラパゴス諸島は南アメリカ大陸から約1000km離れた太平洋上にあり、他の地域から隔離されていました。そのため、ゾウガメやウミイグアナのように、その場所だけで独自の進化を遂げた「固有種」が数多く存在します。ダーウィンは、島ごとに生物の形質が少しずつ異なることに着目し、環境に適応して生物が変化するという進化の仕組みを考察しました。
問6	答え 3 マオリ	ニュージーランドの先住民はマオリであり、彼らはポリネシア系の人々です。かつてはイギリスによる植民地支配の影響で文化が制限された時期もありましたが、1970年代以降、マオリの言語や文化を保護・継承しようとする動きが強まりました。アボリジニはオーストラリア、アイヌは日本、イヌイットは北極圏周辺の先住民です。
問7	答え 2 アジア州	1960年代までは白人以外の移民を制限する「白豪主義」がとられていたため、ヨーロッパ出身者が大半を占めていました。1970年代にこの政策が廃止されて以降、地理的に近いアジア州からの移民が急増し、現在では出身地域別で過半数に達しています。これにより、オーストラリアの人口構成は大きく変化しました。
問8	答え 4 十字架が掲げられたカトリックの教会が、歴史的な街並みの中心に多く見られる。	南アメリカはスペインやポルトガルによる長期間の植民地支配を受けたため、文化や言語、宗教においてそれらの国の強い影響を受けています。特に宗教面では、カトリックの信仰が社会に深く根付いており、都市の広場に面して立派なカトリック教会が建てられている光景は、この地域の典型的な景観となっています。
問9	答え 2 日本との協力によって酸性の不毛な土地を改良する開発が進められ、現在では世界有数の大豆の産地となっている。	ブラジル内陸部のセラードは、かつては酸性の強い土壌のため農業に適さない不毛な土地とされていました。しかし、1970年代から始まった日本との共同プロジェクト（セラード開発）による土壌改良などの近代化政策によって、世界的な大豆生産地へと生まれ変わりました。これにより、ブラジルは世界有数の農業大国としての地位を確立しました。
問10	答え 3 サトウキビ	ブラジルは広大な土地と熱帯の気候を活かしたサトウキビ栽培が盛んです。このサトウキビを原料として作られるバイオエタノール（バイオ燃料）は、石油依存度を低めるための国家政策として、自動車などの燃料に広く導入されています。なお、とうもろこしは主にアメリカ合衆国でバイオ燃料の原料として利用されることが多く、ボーキサイトはアルミニウムの原料となる鉱産資源であるため区別が必要です。
問11	答え 2 パンパと呼ばれる広大な草原を基盤に、大規模な放牧や肥育場での効率的な飼育を行っている。	アルゼンチンの牛肉生産は、広大な温帯草原「パンパ」という自然条件を最大限に活用している点が特徴です。近年では、統計上の生産量で上回るブラジルなどに対抗するため、放牧だけでなく「フィードロット」と呼ばれる肥育場に牛を集め、穀物飼料を与えて短期間で成長させる効率的な生産体制も導入されています。
問12	答え 4 じゃがいもを主食とし、一枚の布の中央に穴をあけて頭を通す形状	アンデス高地はじゃがいもの原産地であり、現在も重要な主食となっています。ポンチョは、寒冷な環境で体温を逃がさないようにしつつ、作業時には動きやすいよう、中央に穴をあけて頭を通すだけのシンプルな構造をしています。